

りんどう  
LC通信  
かわら版

平成15年  
7月11日  
第2巻1号

PR委員会発行

号外

# 緊縮予算の中、川嶋会長体制がスタート

5月28日、新年度正副委員長会議で、財務委員長から次期年度の予算案説明がなされた。

まず第一に、会員減少が会費収入の減収となり、従来通りのアクティビティをやるとすれば、各委員会の活動に資金面において支障来すことが説明された。当然のことであるが、その後会員の増員がないまま新しい年度を迎えた。各委員会とも緊縮財政でこの1年を乗り切ることになる。

今までの「ゼイタクは素敵だ」が今回からは「素」の字が取れてしまった。国家も会社も「無い、無い」の中でやってきているわけだから、我等「りんどうLC」も限られた予算の中でやるより他はない。

これからは各ライオンが持っている英知を大いに発揮していく時代になったと認識すべきだろう。



# 前期五役の皆さん ご苦労様でした。

桑田前期会長は、前任の広瀬直会長の病氣入院で2期にわたって会長職を全うされた。りんどうLC創設以来の事ではなかったらうか…。



前期から発刊された「かわら版」の発行は桑田前会長の発案だったと聞いた。337A地区の中でも月に1回の情報紙の発刊をやっているLC等、そうあるものではないと我々は自負している。退任された5人の役員の方々のこれからのりんどうLCの活動に大いなる期待をしてやまない。